

基本事業名	危機管理体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員等			
基本事業コード	211-01			目的 (どうしたいのか)	災害時に市民の生命・身体・財産等を守るようにする。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	1	危機管理		危機管理対策に満足している市民の割合	%	7	不明	8.5
施策の方向	1	危機管理体制の充実						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	業務継続計画策定事務事業			事務事業コード	211-01-01						
総計に基づく 事業の進捗状況	(R1年度)		継続・新規	終了	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1		R2	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	災害時の危機管理体制			R1年度 事務事業評価	(H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	大規模災害など市民生活に基大な被害をもたらす深刻な影響を与える危機的状況下であっても、優先すべき業務の継続と早期復旧を実現し、市民の生命・財産を守り、行政サービスの提供機能、都市機能や社会経済活動を維持・復旧する。			総合評価・今後の方向性	各視点からの評価			妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	応急業務及び非常時優先業務を特定し優先順位を定めるとともに、継続に必要な資源の確保や配分などについて、必要な事項を明らかにすることにより、危機的状況下であっても的確に対応できるような計画を策定する。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性			
					単位:千円						

事務事業名	業務継続計画進行管理事務事業			事務事業コード	211-01-02							
総計に基づく 事業の進捗状況	(R1年度)	B	滞り順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	防災企画課	R2	防災企画課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	職員			R1年度 事務事業評価	(H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	大規模災害など市民生活に基大な被害をもたらす深刻な影響を与える危機的状況下であっても、優先すべき業務の継続と早期復旧を実現し、市民の生命・財産を守り、行政サービスの提供機能、都市機能や社会経済活動を維持・復旧する。			総合評価・今後の方向性	現状維持			各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	現行の計画の進捗状況及び実施体制の把握、必要な計画の見直し。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性				
					単位:千円	76	76					
						(76)	(76)					

事務事業名	国民保護計画進行管理事務事業			事務事業コード	211-01-03							
総計に基づく 事業の進捗状況	(R1年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	法定受託事務	担当	R1	防災企画課	R2	防災企画課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民			R1年度 事務事業評価	(H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	国民保護法にもとづき、日本に対する外部からの武力攻撃に備え、国市の責務や国民の保護のための措置などを定めた計画を作成し、危機管理体制の充実をはかる。			総合評価・今後の方向性	現状維持			各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	羽曳野市国民保護協議会を開催し、既存の計画を変更する。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性				
					単位:千円	3,037	3,078					
						(3,037)	(3,078)					

基本事業名		危機事象への対応強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)					職員・市民等					
基本事業コード		212-01			第6次羽曳野市総合基本計画	目的 (どうしたいのか)					危機事象による被害の発生や拡大を防止する。				
施策目標		2 地域がつながり安全で心安らぐまち				総合基本計画 目標指標	指標名					単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策		1 危機管理		職員向け危機管理研修実施回数(累計)					回	0	1	5			
施策の方向		2 危機事象への対応強化													
まちづくりの 戦略		○		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり			(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名		事務事業コード		法定・自治		担当	R1	R1			
	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業		総合評価・今後の方向性		各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性	
	事務事業の概要		対象(誰を・何を)		目的(どうしたいのか)		手段(事業内容)		H30年度決算額		R1年度(当初)予算額	R1年度(当初)予算額
									単位:千円			

基本事業名	新型インフルエンザ等対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等						
基本事業コード	211-02			目的 (どうしたいのか)	生命と健康を保護し、生活への影響を少なくする。						
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)			
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち									
施策	1	危機管理									
施策の方向	1	危機管理体制の充実									
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
事務事業名	新型インフルエンザ等対策事業			事務事業コード	211-02-01						
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	健康増進課	R2	健康増進課	
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	新型インフルエンザ等感染症発生時、市民の生命及び健康を脅かすとともに、社会機能に深刻な影響を与える恐れがある。その影響を最小限に止めるため業務継続計画、マニュアル等を作成し対策を検討する。			総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	地域防災計画、休日急病診療所BCP、対策マニュアル等策定、必要物品・薬品の購入			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施		
				単位:千円	(1,199)	(2,085)	(1,199)	(2,085)			

基本事業名	防災・減災体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	職員・市民等					
基本事業コード	221-01			目的 (どうしたいのか)	災害への対応力を高める。					
第6次羽曳野市総合基本計画						指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	自主防災組織編成率						
施策	2	防災・減災								
施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚								
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
							%	34	31.4	55

事務事業名	防災行政無線整備事業		事務事業コード	221-01-01	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	避難所運営職員と避難者	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	防災行政無線を市内全域に網羅できるような整備を行い、災害時に情報伝達ができるよう定期的に保守点検や訓練を行う。また、大規模災害時において電話回線等の通信手段が途絶した時、災害対策本部と各種避難所との連絡手段を確保し情報の共有を行う。	総合評価・今後の方向性	妥当性	有効性
	手段(事業内容)	市内55カ所に設置している災害用無線機の保守点検や訓練を行う。また、各種避難所に対して順次移動系防災行政無線を配備し、災害時の確実な通信手段の確立を図る。	現状維持	A	B
			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
			単位:千円	(197,206)	(175,037)
				R2年度実施の方向性	実施
				(7,406)	(6,737)

事務事業名	三市総合震災演習実施事業		事務事業コード	221-01-02	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	柏原市・羽曳野市・藤井寺市の市民	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	災害に備え、安全なまちづくりを進めていくために、「自助」「共助」「公助」がそれぞれ連携し、市民一人ひとりの危機管理意識の向上と現在実施している防災減災施策の周知を図り、総合的な災害対応力を高めることを目的とする。	総合評価・今後の方向性	妥当性	有効性
	手段(事業内容)	三市分担金計3,600千円の予算で防災フェアを開催する。防災関連用品や車両の展示、消防訓練等の見学に加え、様々な体験型のコーナーを設けて実際に体験してもらう。	改善して継続	A	B
			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
			単位:千円	(3,467)	(161)
				R2年度実施の方向性	実施
				(3,467)	(161)

事務事業名	自主防災組織育成事業		事務事業コード	221-01-03	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	B 概ね順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	自主防災組織	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	自主防災組織の地域連携や防災意識の向上を図り、市全域に自主防災組織を設置及び連携し、災害時の地域力を高める。	総合評価・今後の方向性	妥当性	有効性
	手段(事業内容)	災害時に指定避難所となる各小学校に対して、コミュニティ助成制度を利用して、救助用備蓄資機材を配備し、各種防災訓練の実施を促すとともに、指導や援助を行う。	改善して継続	B	C
			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
			単位:千円	(1,529)	(1,775)
				R2年度実施の方向性	実施
				(1,529)	(1,775)

事務事業名	災害時初動マニュアル等策定事務事業		事務事業コード	221-01-04	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	継続・新規		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	災害時の対応に当たる職員等が行動するためのマニュアル	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	災害時発生後に対応する各種業務について、対応に当たる職員等が的確な判断や行動ができるようマニュアル化をはかる。	総合評価・今後の方向性	妥当性	有効性
	手段(事業内容)	災害時発生後に対応する業務項目及び手順等について、職員等が対応する内容をそれぞれの状況や業務に即して、体系別にフローチャートなども用いてわかりやすく説明したマニュアルを「職員初動」「災害対策本部運営」及び「避難所開設・運営」の3つの項目に分けて策定する。			
			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
			単位:千円		
				R2年度実施の方向性	

事務事業名	地域防災計画進行管理事業		事務事業コード	221-01-05	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	職員・市民等	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	災害対策基本法にもとづき、災害発生時の応急対策や復旧など災害に係る事務・業務に関して市の実情に即した計画を作成し、防災体制の充実と意識の高揚をはかる。	総合評価・今後の方向性	妥当性	有効性
	手段(事業内容)	羽曳野市防災会議を開催し、必要に応じて計画を修正する。	現状維持	A	B
			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
			単位:千円	(1,058)	(1,118)
				R2年度実施の方向性	実施
				(1,058)	(1,118)

事務事業名	みんなで防災大作戦事業		事務事業コード	221-01-06	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	継続・新規		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民、市職員及び関係機関	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	南海トラフ巨大地震を想定し、発生時にとるべき行動や想定される救援内容等を市民、職員、関係機関等が体感・確認することにより、防災・減災に対する意識の向上を図る。	総合評価・今後の方向性	妥当性	有効性
	手段(事業内容)	市制60周年記念事業の一環として、9月1日峰塚公園において、①市と関係機関による訓練の実施②展示・体験コーナーの設置③吹き出しの実施、等からなるイベントの開催を予定していたが、当日悪天候により中止となった。	完了	B	C
			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
			単位:千円	(4,742)	
				R2年度実施の方向性	

基本事業名	防災意識の高揚		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等				
基本事業コード	221-02			目的 (どうしたいのか)	自助・共助・公助の活動が効果的になされるようにする。				
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		非常時持ち出し品や災害時の備蓄品を 準備している市民の割合	%	-	不明	30	
施策	2	防災・減災							
施策の方向	1	防災体制の充実と意識の高揚							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	防災講演会開催事業			事務事業コード	221-02-01					
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	防災企画課	R2	防災企画課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	家庭や地域における防災・減災対策意識の浸透を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	市内の中学校を開催地とし、専門の講師に講演を依頼し実施する。						B	B	A
					総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		実施
				単位:千円	(2,825)	(2,856)				

事務事業名	防災講座・防災研修開催事業			事務事業コード	221-02-02					
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	防災企画課	R2	防災企画課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	職員・市民等			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	災害発生時において的確な判断や行動がとれるよう防災に関する自助・共助の意識や知識の向上を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	①市職員への防災研修の開催や庁内での訓練の実施。②小学生を対象とした「子ども防災教室」の開催。③地域・団体等からの要請に基づく防災講習会等の実施						A	B	A
					総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		実施
				単位:千円	(3,063)	(3,076)				

基本事業名	被災者支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	被災した市民				
基本事業コード	222-01			目的 (どうしたいのか)	生活の再建を支援する。				
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち							
施策	2	防災・減災							
施策の方向	2	災害対策の推進							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	災害弔慰金等支給事務事業			事務事業コード	222-01-01							
	総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	法定受託事務	担当	R1	災害対策課	R2	災害対策課	
	対象(誰を・何を)	災害で被害を受けた市民			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業				
	目的(どうしたいのか)	被災者の生活再建の一助とする。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性		
	手段(事業内容)	災害見舞金:1世帯 30,000円(全壊・全壊・流出) / 15,000円(半壊・半壊) / 10,000円(床上浸水) 死亡弔慰金:1人 30,000円 激甚災害に指定された災害で亡くなった場合。 生計者:5,000,000円 その他:2,500,000円			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施				
				単位:千円	(1,118)	(21,562)	(21,562)						

基本事業名	水害への対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	222-02			目的 (どうしたいのか)	水害や土砂災害による被害を防止し、市民の安全を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	2	防災・減災							
施策の方向	2	災害対策の推進							
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	水防事業			事務事業コード	222-02-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	職員や水防団の警戒出動により被害の防止を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	台風やゲリラ豪雨等により河川の氾濫や土砂崩れの恐れがある場合に、巡回や避難等に関する広報を行う。土のう積み等の事前対策を行い、被害の拡大を防止し市民の安全を確保する。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施		
				単位:千円	(12,791)	(11,233)	(12,791)	(11,233)				

基本事業名		災害時支援体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)		市民				
基本事業コード	222-03				目的 (どうしたいのか)		災害時に必要となる備えを確保しておく。				
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)		
施策	2	防災・減災									
施策の方向	2	災害対策の推進									
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
事務事業名		災害用物資備蓄事業			事務事業コード		222-03-01				
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		B	概ね順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課	
1	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	災害発生時の被災者			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	市民や被災者に対して食糧や飲料水、毛布、灯りなどの安心等を提供する。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	災害発生時に備えて、計画的に食糧や資機材等を備蓄する。			総事業費(うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施
				単位:千円		(11,948)	(14,322)	(11,948)	(14,322)		

基本事業名	消防体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	消防組合・消防団等				
基本事業コード	231-01			目的 (どうしたいのか)	安心・安全な市民生活を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域つながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	3	消防・救急							
施策の方向	1	消防体制の充実							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	出初式開催事業		事務事業コード	231-01-01				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	消防職員及び消防団員	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	柏原市、羽曳野市、藤井寺市、柏原羽曳野藤井寺消防組合の消防使命の自覚を新たにし、広域消防力の団結を強固にするとともに、市民に対し火災予防を啓発することを目的とする。また、古き頃からの慣習を市民に披露することで、お正月の風物詩として未来へ残していく。	総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	柏原市、羽曳野市、藤井寺市が輪番で会場提供市となり、消防職員及び消防団員の年初めの慣例的式典として分列行進や幼年消防クラブの防火演技、一斉放水等を行う。	総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
			単位:千円	(2,062)	(2,025)			

事務事業名	消防団活動支援事業		事務事業コード	231-01-02				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市消防団	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	非常備消防力としての充実強化を図るため。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	団員が十分に活動できるよう物的及び人的に支援する。消防団員の安全装備等の充実強化。	総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
			単位:千円	(30,184)	(43,885)			

事務事業名	消防施設等管理事務事業		事務事業コード	231-01-03				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	消防車庫・消火栓・防火水槽等	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	照明付広報車を配備し、市民が安全に避難出来るようにする。消防団車庫の充実及び消火活動時の水利を確保する為、消火栓等を管理する。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	石油貯蔵施設対策等設置補助金を活用して、石油コンビナート災害時に必要となる資機材を購入する。消防車庫の電気・水道料金の支払い、消火栓の修繕工事等の負担金を支払う。	総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
			単位:千円	(9,500)	(10,115)			

事務事業名	柏原羽曳野藤井寺消防組合負担金事務事業		事務事業コード	231-01-04				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	柏原羽曳野藤井寺消防組合	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	常備消防力として、柏原・羽曳野・藤井寺の3市で構成する一部事務組合である「柏原羽曳野藤井寺消防組合」の機能の維持、充実強化を図り、市民の安全・安心の確保に努める。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	均等割・世帯割割により運営費を三市で負担する。	総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
			単位:千円	(1,275,783)	(1,297,895)			

基本事業名		火災予防の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)		市民等			
基本事業コード	232-01				目的 (どうしたいのか)		火災発生件数の減少と被害の低減を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	R1年度 目標(総計)
施策	3	消防・救急								
施策の方向	2	火災予防の推進								
まちづくりの 戦略	○		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり		火災件数	件	36	30	29		

1	事務事業名				事務事業コード				
	<small>既存に基づく 事業の継続化</small> (H30)		継続・新規	法定・自治	担当	R1			
	事務事業の概要		対象(誰を・何を)		R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業	
			目的(どうしたいのか)		総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			手段(事業内容)		総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	H30年度実績の方向性	
				単位:千円					

基本事業名	救命設備の確保		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等				
基本事業コード	233-01			目的 (どうしたいのか)	救命率の向上を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	3	消防・救急		普通救命講習受講者数	人	1140	不明	1200	
施策の方向	3	救急救助活動の充実							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	公共施設におけるAED設置事務事業			事務事業コード	233-01-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	健康増進課	R2	健康増進課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	公共施設利用者			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	市民等が安心して公共施設を利用できるよう、公共施設にAED を設置し、不測の事態に備える。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	市内の公共施設にAEDを設置。			総事業費 (うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		実施
				単位:千円	(1,699	(854)			

基本事業名		警防活動の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)					消防組合・消防団等		
基本事業コード	234-01				目的 (どうしたいのか)					防火力の向上を図る。		
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)		
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち										
施策	3	消防・救急										
施策の方向	4	警防活動の充実										
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり										
1	事務事業名				事務事業コード							
	R1年度 事務事業評価		継続・ 新規		法定・ 自治		担当 R1		R1			
	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業		総合評価・ 今後の方向性		各視点からの評価		妥当性		有効性	効率性
	R1年度 事務事業概要		対象(誰を・何を)		目的 (どうしたいのか)		手段 (事業内容)		H30年度決算額		R1年度(当初)予算額	
						総事業費 (うち市負担額)		単位:千円		R1年度 実績の 方向性		

基本事業名	地域の自主的な防犯活動の支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	自治会等				
基本事業コード	241-01			目的 (どうしたいのか)	地域の防犯力向上を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		刑法犯認知件数	件	1672	715	1000	
施策	4	防犯							
施策の方向	1	防犯体制の充実・強化							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	歳末夜警実施事業			事務事業コード	241-01-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課
	対象(誰を・何を)	歳末夜警を実施している自治会等			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	防犯活動の推進と防犯意識の向上を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	羽曳野市・羽曳野市連合区長会・羽曳野警察署・羽曳野警察署管内防犯協議会・柏羽藤消防組合・羽曳野市消防団・大阪府議会が5つの班にわかれて、歳末夜警実施自治会等に陣中見舞い及び謝礼金の贈呈を行う。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施		
				単位:千円	(2,612)	(3,221)					

基本事業名	防犯体制の充実・強化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	241-02			目的 (どうしたいのか)	安全な生活環境の確保を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち							
施策	4	防犯							
施策の方向	1	防犯体制の充実・強化							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	青色回転灯防犯パトロール事業			事務事業コード	241-02-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	人事課	R2	人事課
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、市民			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	児童や市民の安全を確保するとともに、防犯意識の醸成を図る。			総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	青色回転灯を装備した車両(以下「青パト」という。)を用いて、再任用職員等が児童の登下校時間に合わせ市内小学校の通学路などを中心に防犯パトロール活動を行うほか、災害や有害畜の出没など市民の安全が脅かされる事態において、市民に対する注意喚起活動を行う。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施		
					単位:千円	(14,135)	(11,131)		(14,135)	(11,131)		

基本事業名	防犯意識の向上		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	242-01			目的 (どうしたいのか)	防犯意識の向上を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	4	防犯							
施策の方向	2	防犯活動の推進と意識の高揚							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	防犯協議会助成事務事業			事務事業コード	242-01-01							
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	災害対策課	R2	災害対策課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野警察署管内防犯協議会				R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	羽曳野市と藤井寺市の両市管内の犯罪抑止、地域の安全なまちづくり、防犯環境整備等の活動を目的とした協議会の運営を支援し、地域の防犯力の向上を推進する。				総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	羽曳野市と藤井寺市で支出する負担金を人口割で行うとともに、羽曳野警察署管内防犯協議会補助金交付要綱に基づき特別助成金を支払う。				総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額		R2年度 実施の 方向性	実施	
					単位:千円	(3,645)	(4,547)						

基本事業名	防犯設備の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域			
基本事業コード	242-02			目的 (どうしたいのか)	犯罪の抑止と発生後の早期解決を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	4	防犯		防犯カメラ設置台数(累計)	台	61	165	150
施策の方向	2	防犯活動の推進と意識の高揚						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	防犯灯設置支援事業			事務事業コード	242-02-01					
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	防犯灯を設置及び管理する自治会等			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	暗がりの少ない、明るい安全なまちづくりの推進を図る。			総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	自治会等が防犯灯を新設する際に、既設の支柱等に設置する場合は1灯につき8,000円、新たに支柱を設ける場合は1灯につき10,000円を予算の範囲内で早期申請順に支給。管理している防犯灯の維持管理のための費用等に対して、1灯につき2,500円を支給。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
				単位:千円	(28,151)	(28,098)				

事務事業名	防犯カメラ設置促進事業			事務事業コード	242-02-02					
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	防犯カメラを設置しようとする自治会等			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	街頭犯罪等の抑止を図る。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	自治会等が防犯カメラを設置する際の費用の一部を負担することにより、市内における防犯カメラの設置を促進する。設置に要した費用の3分の2を補助するもの。(上限200,000円/1台で1団体あたり3台を限度とする)			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
				単位:千円	(4,442)	(5,109)				

事務事業名	防犯設備管理事務事業			事務事業コード	242-02-03					
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	災害対策課	R2	災害対策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市で管理する防犯灯及び防犯カメラ			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	街頭犯罪抑止や暗がりの少ない安全なまちづくりの推進。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	市で設置した防犯灯及び防犯カメラの適切な維持管理のため、電気料金や電柱使用料の支払い並びに修繕等を行う。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
				単位:千円	(2,050)	(2,800)				

基本事業名		消費者対策相談体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民						
基本事業コード	251-01				目的 (どうしたいのか)	消費者被害を最小限に抑える。						
第6次羽曳野市総合基本計画							総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち										
施策	5	消費生活										
施策の方向	1	消費者保護の推進										
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり										
事務事業名		消費生活相談事業			事務事業コード		251-01-01					
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		A	順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	R1	産業振興課	R2	産業振興課	
1	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市民			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
		目的(どうしたいのか)	安全で安心な消費生活の実現			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	羽曳野市消費生活センターを設置し、市民から寄せられる消費者トラブルの相談対応を行う。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施		
					単位:千円	(7,112)	(6,872)		(5,185)	(5,413)		

基本事業名	消費者利益の擁護		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	251-02			目的 (どうしたいのか)	消費者利益の擁護を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	5	消費生活							
施策の方向	1	消費者保護の推進							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
				量目調査における正量率	%	97.9	100.0	98.0	

1	事務事業名	商品量目調査・立ち入り検査事務事業			事務事業コード	251-02-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市民			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	消費者利益の確保を図る			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	羽曳野市消費者団体連絡協議会の協力を得て、市内スーパーで販売されている生活物資の内容量を調査し、適正な計量が実施されているかの実態調査を行う。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額		R2年度 実施の 方向性	実施	
				単位:千円	(391)	(392)		(391)	(392)			

基本事業名	消費者意識の啓発		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	252-01			目的 (どうしたいのか)	消費者被害やトラブルを未然に防ぐ。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	5	消費生活		消費者意識の啓発に係る出前講座の実施回数	回	5	3	10	
施策の方向	2	消費者意識の啓発							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	消費啓発出前講座事業			事務事業コード	252-01-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	主に羽曳野市在住の高齢者			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	消費者被害の発生を未然に防止する			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	老人クラブや自治会などの地域の集まりに出向き、消費啓発出前講座を行う			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施	
				単位:千円	(387)	(415)	(378)	(379)			

2	事務事業名	消費者セミナー事業			事務事業コード	252-01-02					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	C	やや遅れている	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市在住、在勤の方			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	消費者トラブルの防止策、対応策を学び安心して生活を送れるようにする。			総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	司法書士会や関連機関に講師を依頼し、市民に法的な知識や専門知識を身につけていただくため、消費者トラブルの防止策、対応策についてセミナーを開催する。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施	
				単位:千円	(756)	(759)	(756)	(759)			

基本事業名	防疫・感染症対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	261-01			目的 (どうしたいのか)	健康で快適な生活環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち							
施策	6	環境衛生							
施策の方向	1	自然環境の保全							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	害虫等対策事業		事務事業コード	261-01-01				
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	環境衛生課	R2	環境衛生課
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般市民	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業				
	目的 (どうしたいのか)	衛生害虫及び不快害虫の抑制及び駆除を行うことにより、公衆衛生の向上を図り、健康で快適な生活環境を確保する。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
手段 (事業内容)	公共用地や水路等に不快害虫抑制剤・害虫駆除液の散布を行う。		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施		
			単位:千円	(1,382)	(1,224)				

2	事務事業名	飼犬登録及び狂犬病予防事務事業		事務事業コード	261-01-02				
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	環境衛生課	R2	環境衛生課
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	犬を飼っている市民	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業				
	目的 (どうしたいのか)	飼い犬登録率・狂犬病予防注射接種率の向上を目指すと共に、狂犬病に感染しないように理解と予防に取り組む。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
手段 (事業内容)	市内獣医師と委託契約し、市内40箇所での年1回の集合予防注射実施によって、各地域ごとに飼い犬登録と狂犬病予防注射の接種がしやすい環境を作って目的達成に取り組んでいる。		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施		
			単位:千円	(7,175)	(5,849)				

基本事業名	公衆衛生の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
基本事業コード	261-02			目的 (どうしたいのか)	保健衛生の向上と生活環境の改善を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)		
施策	6	環境衛生								
施策の方向	1	自然環境の保全								
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
事務事業名	共同浴場管理運営事務事業			事務事業コード	261-02-01					
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	環境衛生課	R2	環境衛生課	
1 事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的 (どうしたいのか)	保健衛生の向上及び生活環境の改善を図る。			総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	施設のある地域町会に指定管理者として管理運営を委託し、利用者へのサービス向上を図る。						B	C	B
					総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施	
				単位:千円	13,481	7,403				
					(13,481)	(7,403)				

基本事業名	公害等対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	261-03			目的 (どうしたいのか)	公害の発生を防止し、安全・安心な生活環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	90.0
施策	6	環境衛生							
施策の方向	1	自然環境の保全							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	環境調査・監視事務事業			事務事業コード	261-03-01							
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	R1	環境衛生課	R2	環境衛生課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市域の環境(水・大気・騒音等)			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業				
		目的 (どうしたいのか)	日常生活の住環境のために大気、河川水質、騒音の状況を監視し、被害・異常発生未然防止に努める。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性		
		手段 (事業内容)	市域では府の環境監視を行う観測定点がないため、人への健康被害や動植物への影響など環境被害が生じないよう河川水質(水系、5定点)、大気質(一般環境DXN、2地点)、環境騒音・自動車騒音的評価(幹線沿道4定点、一般地域23定点)での状態を適年に監視する。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施			

2	事務事業名	環境相談・指導事務事業			事務事業コード	261-03-02							
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	R1	環境衛生課	R2	環境衛生課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民相談			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業				
		目的 (どうしたいのか)	生活環境の保全、向上、及び、地域の美化推進を図ることにより住み良いまちづくりを進める。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性		
		手段 (事業内容)	市民からの相談に対するアドバイス、工場・事業場に対する指導等。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施			

基本事業名	美化活動の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民						
基本事業コード	262-01			目的 (どうしたいのか)	良好な生活環境の保全を図る。						
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)			
施策	6	環境衛生				環境保全・美化活動の推進に満足している 市民の割合	%	20.5	23.0	25.0	
施策の方向	2	環境美化の推進									
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
		(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									

1	事務事業名	石川クリーン作戦事業			事務事業コード	262-01-01							
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	環境衛生課	R2	環境衛生課		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	石川河川流域、及び、流域住民			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業				
		目的 (どうしたいのか)	河川流域の水質向上及び水環境の改善を通じて流域住民の意識向上を図る			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価			妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	官民共同で河川流域の清掃。					B	B	A			
		総事業費 (うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		実施					
		単位:千円		4,963	5,213								
				(4,963)	(5,213)								

2	事務事業名	まちかど清掃事業			事務事業コード	262-01-02							
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	環境衛生課	R2	環境衛生課		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市域			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業				
		目的 (どうしたいのか)	公共施設周辺のポイ捨てゴミの清掃を行うことにより、環境美化の啓発を行う。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価			妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	市職員による駅前及び公共施設周辺の清掃活動					B	A	A			
		総事業費 (うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		実施					
		単位:千円		453	455								
				(453)	(455)								

基本事業名		環境教育の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)		市民				
基本事業コード	263-01				目的 (どうしたいのか)		環境問題に対する意識の高揚を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)		
施策	6	環境衛生									
施策の方向	3	環境教育の推進									
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
事務事業名		環境教育推進事業			事務事業コード		263-01-01				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		A	順調である		法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	環境衛生課	R2	環境衛生課
1 事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市域の小学生			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	環境教育の一環として、エネルギーと環境との関わりを考える授業や、水生生物とのふれあいを通し、環境について関心を喚起し美化の推進につなげる。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	関西電力㈱協力による「環境教育授業」、大阪府石川河川公園との共催事業の「水辺の観察会」			総事業費 (うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施	
				単位:千円	(3,042	(3,086)		

基本事業名	ごみの減量化推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	271-01			目的 (どうしたいのか)	ごみ減量化に対する意識の高揚を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	7	ごみの減量化と再資源化		市民ひとり一日あたりの家庭系可燃ごみの排出量	g	574	567	553	
施策の方向	1	ごみの減量化の推進							
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	生ごみ処理機購入助成事業			事務事業コード	271-01-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	環境衛生課	R2	環境衛生課
	対象(誰を・何を)	生ごみ処理機を購入した住民			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	ごみの減量化と再資源化を図る。			総合評価・ 今後の方向性	縮小・統合	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	生ごみ処理機を購入した住民に対し費用の一部を助成する。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		完了見込	
				単位:千円	(813)	(955)					

基本事業名	ごみの再資源化の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	272-01			目的 (どうしたいのか)	資源循環型社会の形成に貢献する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	7	ごみの減量化と再資源化		資源化率	%	10.3	10.6	11.0	
施策の方向	2	ごみの再資源化の推進							
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名		ペットボトル回収事業			事務事業コード		272-01-01						
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		A 順調である			継続・ 新規	継続		法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	環境衛生課	R2	環境衛生課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市域から排出されるペットボトル			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業				
	目的 (どうしたいのか)	ごみの減量化及び再資源化を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性		
	手段 (事業内容)	公共施設や地域集会所等に専用回収容器を設置し、市内から排出されるペットボトルの回収を行う。							B	B	A		
		総事業費 (うち市負担額)		H30年度決算額		R1年度(当初)予算額		R2年度 実施の 方向性		実施			
				単位:千円		(3,663) (3,952)							

事務事業名		古紙回収助成事業			事務事業コード		272-01-02						
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		B 概ね順調である			継続・ 新規	継続		法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	環境衛生課	R2	環境衛生課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業				
	目的 (どうしたいのか)	ごみの減量化及び再資源化を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性		
	手段 (事業内容)	古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等に対し助成金を交付する。							A	A	A		
		総事業費 (うち市負担額)		H30年度決算額		R1年度(当初)予算額		R2年度 実施の 方向性		実施			
				単位:千円		(6,452) (7,221)							

基本事業名	廃棄物の適正な処理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民・環境事業組合等			
基本事業コード	273-01			目的 (どうしたいのか)	清潔で快適な生活環境を確保する。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	7	ごみの減量化と再資源化						
施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討						
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	ごみ収集事業		事務事業コード	273-01-01				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1			
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般家庭	環境衛生課	R2	環境衛生課			
	目的(どうしたいのか)	一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業				
	手段(事業内容)	市内の家庭から発生する一般廃棄物(ごみ)を業務委託により収集及び運搬を行う。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性		
					有効性	効率性		
					A	A	A	
					総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性
					678,058	687,968	687,968	実施
					単位:千円	(678,058)	(687,968)	

事務事業名	し尿収集事業		事務事業コード	273-01-02				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1			
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般市民	環境衛生課	R2	環境衛生課			
	目的(どうしたいのか)	一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業				
	手段(事業内容)	市内の家庭から発生する一般廃棄物(し尿)を業務請負により収集及び運搬を行う。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性		
					有効性	効率性		
					A	A	A	
					総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性
					24,523	22,579	22,579	実施
					単位:千円	(24,523)	(22,579)	

事務事業名	柏羽環境事業組合負担金事務事業		事務事業コード	273-01-03				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1			
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般廃棄物(家庭系・事業系・し尿)	環境衛生課	R2	環境衛生課			
	目的(どうしたいのか)	一般廃棄物の適正な処理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業				
	手段(事業内容)	市内及び市内事業所から排出された一般廃棄物の中間処理及び最終処分を近隣3市(柏原市・羽曳野市・藤井寺市)で構成する一部事務組合で処理を行い、搬入量に応じた負担金を各市から支出し、適正で効果的な廃棄物の処理を行う。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性		
					有効性	効率性		
					A	A	B	
					総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性
					854,487	888,774	888,774	実施
					単位:千円	(854,487)	(888,774)	

事務事業名	水銀等使用廃製品の分別収集事業		事務事業コード	273-01-04				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1			
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	一般家庭	環境衛生課	R2	環境衛生課			
	目的(どうしたいのか)	羽曳野市でいきいきと安心して暮らせる環境を整える。	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業				
	手段(事業内容)	法の求めにより、家庭から排出される一般廃棄物のうち、水銀等使用廃製品を分別収集する。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性		
					有効性	効率性		
					A	A	B	
					総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性
					2,787	2,618	2,618	実施
					単位:千円	(2,787)	(2,618)	